

特ラ機構レポート No.202

令和7年1月1日

| | |
|--|----|
| 年頭挨拶 | 2 |
| 令和6年度 第4回 理事会 報告 | 3 |
| 運用連絡と調整の総件数 | 9 |
| イベント報告 | 11 |
| 新規加入会員紹介コーナー | 12 |
| イベント情報 | 14 |
| 特定ラジオマイク運用調整機構 理事・監事名簿 ... | 15 |
| Inter BEE 2024 報告 | 16 |
| モータースポーツ無線協会からのお願い | 19 |
| 地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に に向けた電波発射について | 20 |
| 第25回特ラ機構 技術賞 募集 | 21 |
| 特ラ機構 技術系スタッフ（正職員）募集 | 22 |
| 事務局員年頭挨拶 | 23 |
| 事務局便り | 25 |

新春のご挨拶

(一社)特定ラジオマイク運用調整機構
理事長 渡邊 邦男

明けましておめでとうございます。

皆さまお元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は正月から能登半島地震、羽田空港での航空機衝突炎上という悲惨な出来事が続きました。一方、尊富士 110 年ぶりの新入幕初優勝、新紙幣発行、パリ五輪日本のメダル獲得数新記録、大谷翔平前人未達の 50-50 達成、能登半島被災地で記録的大雨、大の里大関昇進、石破新総理就任、被団協ノーベル平和賞受賞等々、世界の国々で起きている災害や紛争も含めて、私にとっては悲喜こもごもの1年でした。皆さまはどのように感じたでしょうか。

現在特ラ機構では、専用帯に対する安心・安全な運用を維持できるよう楽天モバイルとの会合を行っています。また、4月から夢洲で開催される大阪・関西万博での特定ラジオマイク運用についても関連4団体との合同会議に参加し協議を続けています。

その他、重要なお知らせとして、デジタルラジオマイクの出力を 10mW 以下の低出力に設定して“TVWS アナログチャンネルリスト”で使用するための講習会を来年度前期に実施できるよう計画立案中です。運用担当者がこの講習を受けたあと現地使用者へ確実にレクチャーする必要があるため、早期開催を目指しています。【デジタル 10mW 以下に設定したマイクをローパワーデジタル(略称:LPD)と名付けました】

次は、ヨーロッパやアメリカなど海外の一部地域で運用されているワイヤレス・マルチチャンネル・オーディオ・システム(略称:WMAS)の情報です。WMASは6MHzの帯域幅で32のオーディオチャンネルを双方向で利用できるワイヤレスシステムです。マイクの受信機とイヤモニの送信機などがひとつの1Uラックユニットに収まる、非常にコンパクトなシステムになっています(例:16台のマイクと8台のIEM)。万博での試験運用を目指していますので詳細が分かり次第お知らせします。近い将来WMASが日本で実運用になれば、ガードバンドを除いた4MHz幅でステレオ16チャンネルの運用が可能だそうです。この帯域幅を更に狭めることでTVWS1チャンネルの中でWMASと現在のナローバンドラジオマイクの運用を共存することが可能になると思います。

もう一つ先の話になるでしょうが、1.2GHz帯で実運用が可能なイン・イヤ・モニターを開発するという情報もありましたので、WMASと共に将来が楽しみです。

さて、今年の干支は「乙巳(きのと・み)」です。60年周期で循環する「乙巳」の過去を調べると、政争や政変の開始や終結など社会変革のトリガーとなった年が目立ちます。劇的な変化が起きる年になるかもしれません。備えあれば憂いなし、足元をしっかりと固め、何が起ころうとも平常心でいられる準備をして適切な判断と対応をすれば、良い結果に結びつくと思います。

最後になりますが、2025年が皆さまにとって素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



令和7年 元旦

[理事会報告] 令和6年度 第4回 理事会

1. 日 時 令和6年 12 月4日(水) 15 時～ 17 時
2. 場 所 中野セントラルパークカンファレンス1階 ルーム3
3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 21 名)
出 席 [理事長] 渡邊邦男
[理 事] 池上行大, 岩井佳明, 大塚 豊, 小野良行, 北口紀雄, 小間新五,
鈴木久利, 萩原桂吾, 本間俊哉
[監 事] 伊藤 博, 國枝義久
委任出席 [理 事] 上田好生, 金光浩昭, 川瀬健児, 古藤 崇, 小林 敬, 瀬谷正夫,
則行正信, 右田研介, 吉田諭敏

4. 令和6年度 第4回理事会 開催挨拶

令和6年も残すところ、あと一月を切ってしまいました。何かと落ち着かない世相となった1年でしたが、皆様ご健康に留意され笑顔で新年を迎えられることを願っています。

渡邊理事長から以上の手短な挨拶があり、令和6年度第4回理事会開催の運びとなった。

5. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料：9～11頁)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第25回特ラ機構技術賞の作品募集について、令和6年11月1日発行の『特ラ機構レポート201号』に案内を掲載して応募用紙を同封した。同案内を令和7年1月1日発行の『特ラ機構レポート202号』ならびに特ラ機構 Web サイトにも掲載する予定。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第105回編集委員会は、令和6年11月27日(水)に当機構事務局にて開催した。出席者は4名。『特ラ機構レポート201号』を振り返って反省点等を確認したほか、202号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。201号は、令和6年10月30日(水)に発送済。202号は12月下旬に発送予定となっている。内容は、新年号なので理事長、事務局メンバーの新年挨拶文、理事会報告、新規加入会員紹介、「Inter BEE 2024」報告記事などを掲載予定。

(3) 総務省関係、ARIB関連の報告

① 各総合通信局関連

令和7年度の再免許手続きについて、当機構が把握する再免許対象局数と総務省側のデータとの間で差異がないか、各総合通信局と確認作業を進めている。その他、通常の免許申請や変更申請等においても、各総合通信局の担当者にはご協力をいただいている。

② ARIB関連

令和6年10月29日(火)に開催された「第123回 ARIB 規格会議」については、都合により委任出席とさせていただいた。

(4) TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会 (WS協議会)

① 統合DB作業班

今期、DB 作業班の開催はなかった。

② 幹事会

今期、幹事会の開催はなかった。

③ TVホワイトスペースの利用率向上 (アナログチャンネル利用) 運用調整部会

令和6年11月下旬、運用調整システムへ「Low パワーデジタル (LPD)」の項目を加えるため、システム開発会社から新しい操作画面などの改修案が提示された。メールベースでWS協議会と共にこれらの確認をおこなった。

現在までのところ、運用調整システムの準備を先行しておこない、運用ルール等の整備は今後進められる予定となっている。

④ WS協議会負担金の支払い状況

令和6年度第2四半期のWS協議会負担金(新規分の登録費・運用調整費)について、合計462,800円となった。WS協議会から請求書が到着次第、支払う予定となっている。

(5) チャンネルリストについて (令和6年10月1日～令和6年11月30日)

令和6年10月8日(火)、総務省関東総合通信局ならびに近畿総合通信局を通じて、TVWSチャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は10月31日(木)に運用調整システムへ登録を完了した。

令和6年11月7日(木)、総務省関東総合通信局を通じて、TVWSチャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は11月27日(水)に運用調整システムへ登録を完了した。

<新たに追加された施設>

北海芝ビル, グラングリーン大阪 (MICE 施設), TOYOTA ARENA TOKYO, BMSG スタジオ

<変更修正された施設>

泉大津市民会館 (屋外) ⇒ シーバスパーク

日本消防会館 ⇒ ニッショーホール (日本消防会館)

ニッショーホール ⇒ ヤクルトホール
品川ホテルゆうぼうと ⇒ 五反田 JP ビルディング

(6) 情報通信月間推進協議会報告

令和6年11月14日(休)、Web会議にて第3回運営連絡会が開かれた。
主な議題として、以下の4項目について報告や審議があり、すべてについて承認された。
なお、石川統括チーフは業務の都合により欠席とした。

- (1) 2024年度情報通信月間行事実施状況報告
- (2) 2024年度情報通信月間推進協議会決算(見込)
- (3) 2025年度情報通信月間推進協議会行事実施計画(案)
- (4) 2025年度情報通信月間推進協議会予算(案)

(7) 令和7年度の再免許手続き

令和6年10月18日(金)、再免許対象会員(634会員)へ関係書類の発送をおこなった。
必要書類(「再免許依頼書」や「委任状」など)の返送の締め切りは11月8日(金)となっており、未着の対象会員については、個別に連絡をとって対応している。
なお、必要書類の返送方法について、会員の負担軽減を目的として、今年度から郵送に加えてEメールでの受付も開始した。

(8) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

令和6年7月16日(火)から再開された実証実験との運用調整について、令和6年10月25日(金)をもって今年度の運用は終了となった。運用期間中、実験試験局との運用調整の対象となったのは名古屋地区で32件あり、一部を除きTV35chを避けての運用に協力いただいた。
なお、三重県津市(TV25ch)では調整はなかった。

(9) 短信、その他

① Web サイト更新

チャンネルリスト検索システム、『特ラ機構レポート』等の定期更新、お知らせ等の更新をおこなった。また、各種告知についてはXでもおこなった。

〈特ラ機構 Web サイト〉 <https://www.radiomic.org/>

② 楽天モバイル株式会社 700MHz帯利用に向けた今後の対応に関して

令和6年11月下旬、楽天モバイル株式会社からの依頼により、専用帯に対応した特定ラジオマイクを保有する固定会員のデータを同社側に提供した。これにより同社基地局の開設計画について、運用調整が必要となる専用帯を保有する固定会員の運用場所を極力避けて進められることになる。

⇒ 上記は第3回理事会にて楽天モバイル株式会社より説明があった。更なる質問を受け付けしたが、特に無かった。

③ 2025 大阪・関西万博に関して

令和6年11月5日(火)、甲田テクニカルチーフが博覧会事務局を訪問し、海外パビリオンにおける新たなシステム提案をご案内すると共に、関係諸団体との連携に関して協力していくことを確認した。

6. 【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和6年10月～令和6年11月分

【入 会】

関 東：株式会社トイル&モイル，中村 嘉宏，株式会社シーンクラフト，
株式会社 MAIDIT，前原 康伸，
株式会社マグネットスタジオ (TODA HALL & CONFERENCE TOKYO)，
株式会社スタジオボックス，志村 佳紀
信 越：原田 亮太郎
近 畿：山下 竜弥，株式会社結音，株式会社パルコ (心齋橋 PARCO SPACE14)，
株式会社 KNUCKLE，
南船場4丁目ホテルシステムズ株式会社 (W大阪2階宴会場&3階リビングルーム)
中 国：阿奈 知宏，田口 淳一郎
九 州：株式会社タオ・エンターテイメント

【退 会】

関 東：株式会社プラチナム・パスポート，
株式会社 Boutique Fitness (CycleBar Akasaka)
近 畿：積水ハウス株式会社 (W OSAKA)

⇒ 会員の入退会は審議事項なので、質問、意見を募ったが特になかった。

(2) 会員数

令和6年11月末現在 1,659 会員

(3) 無線局数

令和6年11月末現在 50,581 局

〈内 訳〉

① 470～714MHz 帯

ラジオマイク 35,787 局 (アナログ：24,297 局，デジタル：11,490 局)
イヤモニ 2,691 局 (アナログ：2,689 局，デジタル：2 局)

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 12,103 局 (アナログ：670 局，デジタル：11,433 局)

合 計 50,581 局 (アナログ：27,656 局，デジタル：22,925 局)

⇒以上の審議事項ならびに全体について質問、意見を募ったが特になく承認された。

令和6年度第4回理事会は順調に推移し、全件について承認を得て終了した。

開催挨拶で理事長より理事・監事の健康を配慮する言葉があったが、理事1名が現在入院リハビリ中で欠席だった事もあり、理事会終了後は過去の病歴における症状や現在の健康状況の話題も多く出て関心も大きかった。また、会議後だが下記の現況報告や提案および楽天モバイル基地局開設の対応に関する説明があった。

- ・仕事は沢山入っている。
- ・週末に仕事が重なる。
- ・物価高で機器の買い替えも思うに任せない。
- ・理事・監事は2年の任期だが、継続して就任する状況が続いている。定年制を設けて欲しい。
- ・言語に対する放送禁止用語があるのは分かるが、表現の意味が少し違うのではないかとと思われるものでも一緒に禁止されている。テレビが面白くなかった理由の一因だと思う。

【楽天モバイル基地局開設への対応】

楽天モバイルの使用帯域 → 770 ～ 773MHz (ダウンリンク：基地局→携帯端末)、
715 ～ 718MHz (アップリンク：携帯端末→基地局)。

※携帯端末が770 ～ 773MHz のダウンリンクの電波を受信しない限り、その端末から
715 ～ 718MHz の電波を発信することはない。

アップリンクの周波数が専用帯に近接しているため、さまざまな悪条件が重なった場合、携帯端末の電波が専用帯へ干渉を起こすことが予想される。これを防ぐための主な対策は以下のとおりである。

- ・基地局と携帯端末は複数の周波数帯(3.7GHz帯や1.7GHz帯など)で通信できるので、極力、700MHz帯は避けて他周波数帯と優先的につながるようにする(700MHz帯は他周波数帯が繋がらない場合に使用)。
- ・携帯端末から基地局までの距離が遠くなるほど送信電力も大きくなり、専用帯への干渉を起こす可能性は高くなる。そのため、稠密に基地局を設置することにより携帯端末の送信電力を下げる対策をとる。
- ・移動会員から専用帯使用の運用連絡が入った場合は、運用時間の前後1時間の余裕をとって、運用場所周辺の700MHz帯基地局を停波する。
- ・固定会員の場合は、その施設が普段どの辺の周波数を使っているのかアンケートをとり、運用調整が必要となる専用帯を保有する固定会員の運用場所を極力避けた基地局開設を進め、考えられる状況と対処について話し合っていく。

以上

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用 研究、開発とまでいなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用 ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話 南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

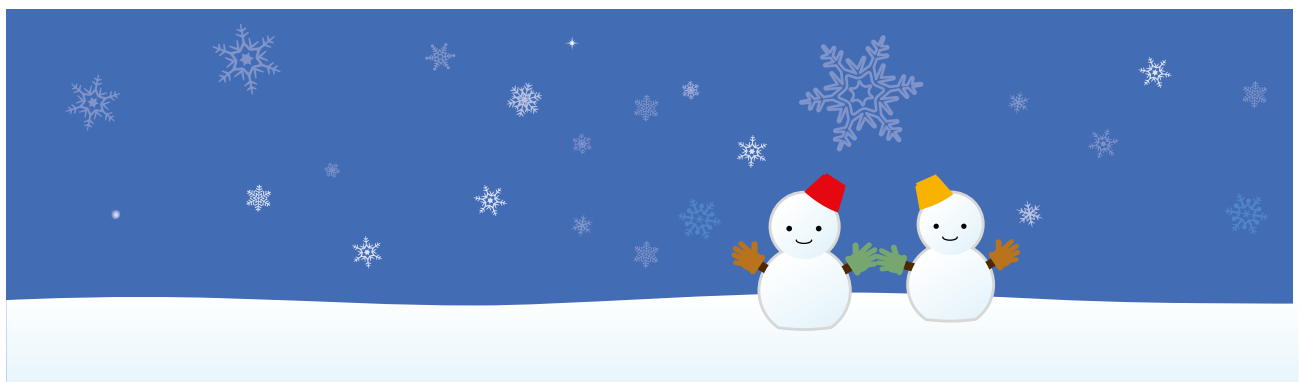
特ラ機構への意見 苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。

レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です

Email : office@radiomic.org



運用連絡と調整の総件数

2024年10月～11月

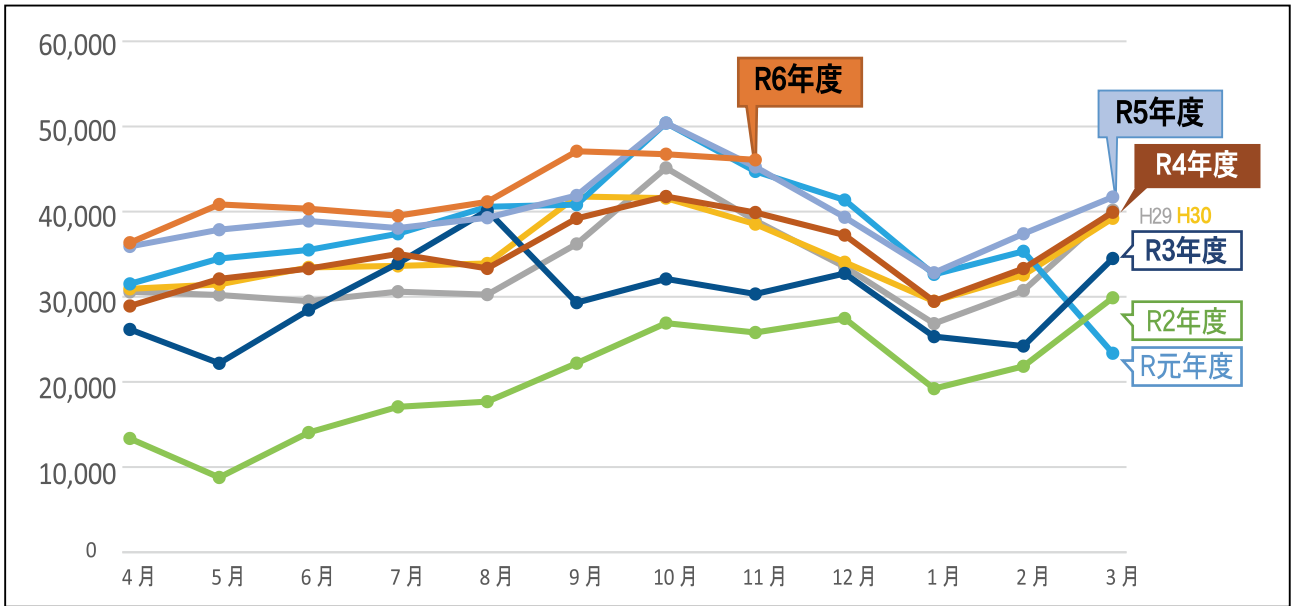
I . 最新の運用連絡・調整の総件数

表-1 各年度 月別運用連絡・調整総件数表 ※ 2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計
表の数値のアンダーラインは月ごとの最大値

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年計 | 月平均 |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------|--------|---------|--------|
| 29年度 | 30,228 | 29,853 | 29,120 | 30,245 | 29,898 | 35,928 | 44,971 | 38,701 | 33,207 | 26,443 | 30,385 | 39,939 | 398,918 | 33,243 |
| 30年度 | 30,589 | 31,104 | 33,135 | 33,311 | 33,597 | 41,578 | 41,380 | 38,279 | 33,744 | 29,109 | 32,231 | 38,981 | 417,038 | 34,753 |
| R元年度 | 31,172 | 34,184 | 35,213 | 37,136 | 40,348 | 40,598 | 50,306 | 44,561 | <u>41,152</u> | 32,302 | 35,054 | 22,921 | 444,947 | 37,079 |
| R2年度 | 12,780 | 8,139 | 13,485 | 16,543 | 17,164 | 21,739 | 26,511 | 25,387 | 27,059 | 18,711 | 21,369 | 29,520 | 238,407 | 19,867 |
| R3年度 | 25,753 | 21,727 | 28,067 | 33,609 | 39,896 | 28,938 | 31,758 | 29,970 | 32,419 | 24,898 | 23,774 | 34,194 | 355,003 | 29,584 |
| R4年度 | 28,542 | 31,766 | 32,990 | 34,732 | 33,017 | 38,963 | 41,572 | 39,666 | 36,977 | 29,098 | 32,998 | 39,697 | 420,018 | 35,002 |
| R5年度 | 35,629 | 37,617 | 38,656 | 37,804 | 39,047 | 41,695 | <u>50,307</u> | 45,091 | 39,103 | <u>32,497</u> | 37,134 | 41,509 | 476,089 | 39,674 |
| R6年度 | <u>36,070</u> | <u>40,625</u> | <u>40,110</u> | <u>39,284</u> | <u>40,934</u> | <u>46,957</u> | <u>46,607</u> | <u>45,931</u> | | | | | | |

前年との差 +441 +3,008 +1,454 +1,480 +1,887 +5,262 -3,700 +840

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



2024年10月～11月

| II . (1) 2ヶ月間の総件数を比較 | | |
|----------------------|--------|---------|
| | 8月～9月 | 10月～11月 |
| 前年 | 80,742 | 95,398 |
| 当年 | 87,891 | 92,538 |
| 増減 | +7,149 | -2,860 |

| II . (2) 1ヶ月間の受信数を比較 | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|---------|---------------|---------------|--------|--------|--------|---------------|---------------|-----|---------|----|----|
| 令和6年度 | | | | | | | | | | | | |
| | 2024年4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2025年1月 | 2月 | 3月 |
| 前年 | 15,624 | 16,427 | 16,906 | 16,969 | 17,057 | 17,723 | 19,810 | 19,423 | | | | |
| 当年 | 16,353 | <u>17,287</u> | <u>17,279</u> | 16,909 | 17,089 | 18,314 | <u>20,633</u> | <u>20,161</u> | | | | |
| 増減 | +729 | +860 | +373 | -60 | +32 | +591 | +823 | +738 | | | | |

【総評】 総件数は、当機構と放送局からの運用連絡受信数に、運用調整が必要なユーザーへ送信した数を加えた総数を表している。一方、運用連絡（受信数）は、特定ラジオマイクを運用する予定の全ユーザーから送られてきた運用連絡票から、会員番号、現地使用者、催事名、使用マイク、場所などが一致した運用連絡を一日ごとに集計した数なので、月ごとの運用件数を見極めるには、受信数の方が運用件数の実績に近い数値となる。

総件数の折れ線グラフでは、当期 10 月の総件数が前年に比べ 3,700 件減の 46,607 件となった。これは昨年 10 月の運用調整（送信）数が令和元年に次ぐ 3 万件越えを記録したこと* による統計上の落ち込みであり、何ら問題はない。当期一番のポイントは「II.(2) 1 カ月の受信数を比較」に示されたように、運用連絡受信数が 10・11 月共に初めて 2 万件を超えたことだ。

【注*】（令和元年東京モーターショー（送信数 31,713 件）、令和 5 年“2023 JAPAN MOBILITY SHOW”（送信数 30,497 件）の開催が影響したと思われる）

II . 前年度と当期の運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

(1) 2 ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

10～11 月の総件数は前年に比べ 2,860 件減の 92,538 件となった。これは総評でも述べたとおり、前年 10 月後半から 11 月に掛けての運用調整（送信）数が、14 日間連続で 1,000 件を超えたことに起因している。

(2) 1 か月単位での総件数の推移と運用連絡受信数から、当期 10 月と 11 月を振り返る

10 月の総件数は前年比 3,700 件減の 46,607 件だったが、11 月は 840 件増の 45,931 件で月別の記録を更新。

当期の運用連絡（受信）数は、10 月が 823 件増の 20,633 件、11 月も 738 件増の 20,161 件を記録した。

(3) 【受信・送信 2 ヶ月間】を比較

| | 令和 2 年度 (2020 年 4 月～2021 年 3 月) | | 令和 3 年度 (2021 年 4 月～2022 年 3 月) | | 令和 4 年度 (2022 年 4 月～2023 年 3 月) | | 令和 5 年度 (2023 年 4 月～2024 年 3 月) | | 令和 6 年度 (2024 年 4 月～2025 年 3 月) | |
|----------|------------------------------------|---------|------------------------------------|---------|------------------------------------|---------|------------------------------------|---------|------------------------------------|---------|
| | 8～9 月 | 10～11 月 | 8～9 月 | 10～11 月 | 8～9 月 | 10～11 月 | 8～9 月 | 10～11 月 | 8～9 月 | 10～11 月 |
| a. 受信 | 19,557 | 25,109 | 24,153 | 29,328 | 30,370 | 35,594 | 34,780 | 39,233 | 35,403 | 40,794 |
| b. 送信 | 19,346 | 28,789 | 44,681 | 32,400 | 41,610 | 45,644 | 45,962 | 56,165 | 52,488 | 51,744 |
| 合計 | 38,903 | 51,898 | 68,834 | 61,728 | 71,980 | 81,238 | 80,742 | 95,398 | 87,891 | 92,538 |
| 比率 (b/a) | 0.99 | 1.07 | 1.85 | 1.11 | 1.37 | 1.28 | 1.32 | 1.43 | 1.48 | 1.27 |

【受信数】 10～11 月は前年の 39,233 件に対し、1,561 件増の 40,794 件となった。

【送信数】 10～11 月は前年に比べ、4,421 件減の 51,744 件になった。

【連絡数に対する調整数の比率】 1.27 倍となっている。

III . 各年度の月別「運用連絡・（受信数）の比較から、コロナ禍前後の影響を見る

各年度月別運用連絡（受信数）

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 | 月平均 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| R 元年度 | 13,954 | 14,708 | 15,290 | 15,302 | 15,914 | 16,577 | 18,593 | 18,407 | 16,023 | 13,146 | 14,491 | 10,788 | 183,193 | 15,266 |
| R 2 年度 | 5,875 | 3,996 | 7,038 | 8,769 | 8,766 | 10,791 | 12,634 | 12,475 | 12,324 | 8,896 | 10,125 | 13,374 | 115,063 | 9,589 |
| R 3 年度 | 12,118 | 10,396 | 12,929 | 14,358 | 12,593 | 11,560 | 14,734 | 14,594 | 14,292 | 10,771 | 10,622 | 13,902 | 152,869 | 12,739 |
| R 4 年度 | 13,023 | 14,383 | 14,801 | 15,274 | 14,367 | 16,003 | 18,061 | 17,533 | 15,703 | 12,715 | 14,601 | 16,341 | 182,805 | 15,234 |
| R 5 年度 | 15,624 | 16,427 | 16,906 | 16,969 | 17,057 | 17,722 | 19,810 | 19,423 | 16,635 | 13,879 | 15,908 | 17,633 | 203,994 | 17,000 |
| R 6 年度 | 16,353 | 17,287 | 17,279 | 16,909 | 17,089 | 18,311 | 20,633 | 20,161 | | | | | | |
| 前年比 | 1.05 倍 | 1.05 倍 | 1.02 倍 | 1.00 倍 | 1.00 倍 | 1.03 倍 | 1.04 倍 | 1.04 倍 | | | | | | |

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和6年 10月～11月)

| イベント名 | 日程 | 施設 | 運用社数 | ブース数 | マイク・イヤモニ | | | 計 |
|-----------------------------------|------------|----------|------|------|----------|---------|--------|----|
| | | | | | TVWS | 711-714 | 1.2GHz | |
| CEATEC 2024 他 ※ | 10月15日～18日 | 幕張メッセ | 18 | 22 | 41 | 3 | 36 | 80 |
| TOKYO PACK 2024 ※ | 10月23日～25日 | 東京ビッグサイト | 7 | 8 | 2 | 0 | 33 | 35 |
| JIMTOF 2024 ※ | 11月5日～10日 | 東京ビッグサイト | 28 | 42 | 14 | 4 | 76 | 94 |
| Inter BEE 2024 ※ | 11月13日～15日 | 幕張メッセ | 17 | 21 | 41 | 3 | 45 | 89 |
| アミューズメント EXPO 他 ※ | 11月15日～17日 | 東京ビッグサイト | 10 | 13 | 37 | 4 | 24 | 65 |
| Japan Home Show & Building Show ※ | 11月20日～22日 | 東京ビッグサイト | 10 | 10 | 14 | 6 | 55 | 75 |

※ 周波数配分を実施したイベント

【周波数配分】

令和6年 11月15日(金)～17日(日)、東京ビッグサイト東棟で開催された「アミューズメント EXPO」ほか複合展において、10社13ブース、合計65局（TVWS帯37局、専用帯4局、1.2GHz帯24局）の運用があった。

1.2GHz帯については、事務局にて周波数配分をおこなった。また、TVWS帯に関しては、幹事社を株式会社エヌアンドエヌ様をお願いをした。同社の現地担当者である米川様には感謝申し上げます。

5. 干渉報告

令和6年 10月12日(土)、株式会社銀座サクラヤのご担当である野仲様から連絡があった。

「本日、1.2GHz帯のラジオマイクを新宿アイランドタワー 35Fで運用した際、本番中の午前11時から11時30分のいずれかのタイミングで、『ビー』という干渉ノイズが発生した。ノイズ発生直後、すぐに有線マイクへ切り替えたため、異音が出たのはその1回のみだった。数年前から定期的に開催している催事で、隣接する固定会員であるヒルトン東京様とは運用周波数をあらかじめ調整していた」

以上の報告から事務局にて、同日の周辺地区での他局の運用状況なども調べてみたが、問題点を特定するには至らなかった。しかし、干渉ノイズの状況から近距離からの発報ではないかと思われる。

新規加入会員紹介コーナー

令和6年10月～11月

関東

| | | | |
|---------------|---|----------|--------|
| 会員番号 030-1257 | | | 移動会員 |
| 志村 佳紀 | | | |
| - | - | 1.2GHz 帯 | ソニー…4局 |

| | | | |
|---------------|---|----------|---------|
| 会員番号 030-1258 | | | 移動会員 |
| 株式会社スタジオパックス | | | |
| - | - | 1.2GHz 帯 | シュア…12局 |

| | | | |
|---|---|----------|---------|
| 会員番号 030-1259 | | | 固定会員 |
| 株式会社マグネットスタジオ (TODA HALL & CONFERENCE TOKYO) | | | |
| - | - | 1.2GHz 帯 | シュア…16局 |
| 【コメント】 東京駅八重洲中央口から徒歩7分。ビジネスの交流だけではなく様々な催しを対象とする2つのホールとカンファレンス。ビジネスと芸術・文化の拠点としてスタートします！ | | | |

| | | | |
|---------------|-----|---|--------------|
| 会員番号 030-1260 | | | 移動会員 |
| 前原 康伸 | | | |
| TVWS 帯 | 専用帯 | - | オーディオテクニカ…2局 |

| | | | |
|---------------|-----|---|--------|
| 会員番号 030-1261 | | | 移動会員 |
| 株式会社 MAIDIT | | | |
| TVWS 帯 | 専用帯 | - | シュア…2局 |

| | | | |
|---------------|---|---|---------------|
| 会員番号 030-1263 | | | 移動会員 |
| 中村 嘉宏 | | | |
| TVWS 帯 | - | - | SENNHEISER…2局 |

| | | | |
|---------------|-----|---|--------------|
| 会員番号 030-1264 | | | 移動会員 |
| 株式会社トイル&モイル | | | |
| TVWS 帯 | 専用帯 | - | オーディオテクニカ…2局 |

近 畿

| | | | |
|---------------|-----|---|--------|
| 会員番号 070-0360 | | | 移動会員 |
| 株式会社 KNUCKLE | | | |
| WS 帯 | 専用帯 | - | シュア…2局 |

| | | | |
|----------------------------|---|---|---------|
| 会員番号 070-0361 | | | 固定会員 |
| 株式会社パルコ（心齋橋 PARCO SPACE14） | | | |
| WS 帯 | - | - | シュア…12局 |

| | | | |
|---------------|---|----------|---------|
| 会員番号 070-0362 | | | 移動会員 |
| 株式会社結音 | | | |
| - | - | 1.2GHz 帯 | シュア…12局 |

中 国

| | | | |
|---------------|-----|---|--------------|
| 会員番号 080-0082 | | | 移動会員 |
| 田口 淳一郎（LARGO） | | | |
| WS 帯 | 専用帯 | - | オーディオテクニカ…3局 |

| | | | |
|----------------------|---|----------|--------|
| 会員番号 080-0083 | | | 移動会員 |
| 阿奈 知宏（オフィス キャット・イヤー） | | | |
| - | - | 1.2GHz 帯 | シュア…4局 |

九 州

| | | | |
|---|---|----------|---------|
| 会員番号 100-0121 | | | 移動会員 |
| 株式会社タオ・エンターテイメント | | | |
| - | - | 1.2GHz 帯 | シュア…10局 |
| 【コメント】 和太鼓によるパフォーマンスを軸に、篠笛／三味線／箏といった楽器と共に和の世界観を “ストーリー性のある肉体の芸術音楽”として表現するエンターテインメント集団です。 | | | |

イベント情報

2025 年大阪・関西万博まで後わずか、各パビリオンの建築も急ピッチで進んでいます。
 春休みは昨年と同様に多くのイベント開催が見込まれますので、お仕事が決まりましたら、
 機材準備の前に運用連絡票をお送り頂きます様、宜しくお願い致します。

| 日程 | 展示会名 | 会場 |
|-------------|-----------------------|----------|
| 1月 9日～ 11日 | TOKYO DIGICONX | 東京ビッグサイト |
| 1月 10日～ 12日 | 東京 e スポーツフェスタ 2025 | 東京ビッグサイト |
| 1月 10日～ 12日 | ★東京オートサロン 2025 | 幕張メッセ |
| 1月 11日～ 13日 | Pet 博 2025 | パシフィコ横浜 |
| 1月 15日～ 17日 | Japan IT Week 関西 2025 | インテックス大阪 |
| 1月 17日～ 19日 | ★釣りフェス 2025 | パシフィコ横浜 |

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : office@radiomic.org



令和6・7年度一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構 理事・監事名簿

| | 役 職 | 氏 名 | 所属団体・会社 部署 | 役 職 |
|----|-------|--------------------|-----------------------|------------|
| 1 | 理 事 長 | わたなべ くにお 渡邊 邦男 | (一社)特定ラジオマイク運用調整機構 | 理事長 |
| 2 | 理 事 | いけがみ いくお 池上 行大 | (株)千代田ビデオ 技術本部 | |
| 3 | 理 事 | いらい よしあき 岩井 佳明 | (株)テークワン・オーディオ | 代表取締役 |
| 4 | 理 事 | うえだ こうせい 上田 好生 | (公財)新国立劇場運営財団 技術部 | 音響課長 |
| 5 | 理 事 | おおつか ゆたか 大塚 豊 | (株)NHKテクノロジーズ 制作技術部音声 | 専任部長 |
| 6 | 理 事 | おの よしゆき 小野 良行 | ヒビノエンターテインメント(株) | 顧問 |
| 7 | 理 事 | かねみつ ひろあき 金光 浩昭 | (株)三光 | 専門職 |
| 8 | 理 事 | かわせ けんじ 川瀬 健児 | (株)クレアジャパン | 取締役副社長 COO |
| 9 | 理 事 | きたぐち のりお 北口 紀雄 | (株)ティー・ピー・オー | 代表取締役 |
| 10 | 理 事 | ことう たかし 古藤 崇 | (株)共立 舞台制作事業本部 音響部 | 部長補佐 |
| 11 | 理 事 | こばやし けい 小林 敬 | (株)エディスグローヴ | 代表取締役 |
| 12 | 理 事 | こま しんご 小間 新五 | (株)サークル | 取締役 |
| 13 | 理 事 | すずき ひさとし 鈴木 久利 | 有識者 | |
| 14 | 理 事 | せや まさお 瀬谷 正夫 | (株)エス・シー・アライアンス | |
| 15 | 理 事 | のりゆき まさのぶ 則行 正信 | (株)ドリーム | 代表取締役 |
| 16 | 理 事 | はぎわら けいご 萩原 桂吾 | (株)総合舞台 音響部統括 | 取締役 |
| 17 | 理 事 | ほんま としや 本間 俊哉 | 東宝(株)帝国劇場 (株)フリックプロ | 代表取締役 |
| 18 | 理 事 | みぎた けんすけ 右田 研介 | (株)若尾総合舞台 | 取締役 |
| 19 | 理 事 | よしだ さとし 吉田 廣嗣 | (学)東放学園 キャリアサポートセンター | 顧問 |
| 20 | 監 事 | いとう ひろし 伊藤 博 | 有識者 | |
| 21 | 監 事 | くにえだ よしひさ 國枝 義久 | 有識者 | |

令和6年6月現在

Inter BEE 2024 報告

令和6年11月14日(木) 千葉市美浜区 幕張メッセにて開催された、Inter BEE 2024 (国際放送機器展) を視察しました。

国内最大の放送機器関連のイベントにて、オンライン開催に併せてリアルでも開催されました。

はじめに

国際会議場で開催された『「WMAS」新技術のワイヤレスマイク・IEM とは』のオーディオ・セッションに参加しました。

モデレーターの(株)テレビ朝日 阿部健彦氏のご挨拶ならびに WMAS (Wireless Multi-Channel Audio Systems) の概要説明の後、パネリストのソニー(株) 豊泉裕章氏からは、TDD や OFDM などのデジタル変調方式の分かり易い説明を頂きました。

SENNHEISER フォルカー・シュミット氏ならびにゼンハイザージャパン(株) 藤井宏幸氏からは、ゼンハイザー社のデジタル開発の歴史を始め、WMSA 方式の ITU-R に於ける規格説明や仕様に関する解説がありました。

SHURE マイケル・ジョーンズ氏ならびにシュアー・ジャパン(株) 田中真梨恵氏からは、WMAS 方式が採用された AXT Digital PSM イヤモニシステムに関する概要が説明されました。

会場には多くの関係者やエンジニアが参加者され、日本国内に於ける WMAS 方式の制度化に対する関心の高さが感じられました。



今回のワイヤレス関連の展示で気になったものをご紹介します。

SHURE ブース



AXT Digital PSM 開発者
セルジオ・アルバレス氏と田中真梨恵氏の説明



AXT Digital PSM



AXT Digital PSM

ゼンハイザー ジャパン ブース



「SPECTERA」WMAS 方式が採用された新システム

6 MHz の帯域幅で 32ch の送受信をデザインすることができる。端末機はボディ
パックトランスミッターとイヤモニの受信機がひとつの筐体に納められている。

SONY ブース



新たなA帯デジタルマイクのシリーズも展示

ヒビノ ブース



Inter BEE 2024（国際放送機器展）は第60回を数えたが、ヒビノ株式会社も創業60年を迎えたとの事、数々の歴史を記すパネル展示を始めヒビノサウンドDivを象徴するHH-3000（Low Box）にピンコ（LowMid）のスピーカーシステム展示が目をつけた。

タイミング良く同システムの開発者であり、ヒビノサウンドのレジェンド宮本 幸氏にご挨拶することができ、昔話に花が咲きました。

（甲田）

モータースポーツ無線協会からのお願い

特ラ機構会員のみなさま あけましておめでとうございます。

昨年中は、国際レースへのご理解・ご協力、大変ありがとうございました。今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、令和7年の「F1日本グランプリ」は、4月4～6日の3日間、鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）で開催されます。昨年末に総務省様へ周波数リストを提出し、現在は審査を受けている段階ですが、今年も1.2GHz帯の使用希望が来ております。そのため、例年どおりのお願いとなりますが、レース期間中（準備期間も含めて、令和7年4月3～6日の4日間）、鈴鹿サーキット内での1.2GHz帯の使用をお控えいただきたく存じます。

なお、当該周波数帯を使用する無線設備への干渉等の可能性は鈴鹿サーキット関連施設内のみであり、鈴鹿市内の他施設での使用は問題ございません。

また、昨年、TVホワイトスペース帯の使用に関してご協力をいただいた「Formula eTokyo E-Prix」ですが、令和7年は5月に開催時期が変更となりました。場所は昨年と同じ、東京ビッグサイト（東京都江東区）周辺です。

具体的な周波数希望は現時点で届いておりませんが、今年もTVホワイトスペース帯の周波数を多数使用することとなることが想定されます。レースが近づいてきましたら改めてご連絡させていただきますが、レース期間中の東京ビッグサイト周辺の運用調整につきましては、昨年同様、特ラ機構の甲田様に依頼いたしますので、こちらもよろしくお願い申し上げます。

〈 本件に関するお問い合わせ 〉

モータースポーツ無線協会 田中
t-tanaka@mosra.jp 03-6402-2744



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では、地上デジタル放送の高度化に向けて、名古屋・三重地区において実験試験局での実証実験に関わる電波発射を実施してきましたが、今年度(2024年度)の実証実験はすべての地区で終了しております。会員の皆様のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認いただきますよう、よろしくお願い致します。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ4K・8K実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局



第25回 特ラ機構技術賞

作品募集中

こんな作品を募集しています!!

- 映画・番組・配信などの映像作品
- 演劇・音楽・イベントなどの舞台作品

応募作品例：「ボランティアスタッフによるイベント・舞台公演」

「多数のマイクを使用する演目の PA や収録の工夫」

「良い音を収録するためのラベリア Mic 仕込テクニック」

「新しいシステムを活用した PA や収録」・・・etc

詳細は特ラ機構 Web サイトをご覧ください

あなたの経験を特ラ機構で活かしませんか？

特ラ機構 技術系スタッフ（正職員）募集

特ラ機構では、運用連絡票の入力作業や大規模展示会での周波数配分、チャンネルリスト取得補助などを担う、技術系スタッフ（正職員）を募集しています。特に音響会社などでのPA業務・デスク業務の経験者は優遇します。

詳細は下記までお問い合わせください。

＜問い合わせ先＞

一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構

人事・総務担当 木村・神守

TEL：03-5273-9806

Eメール：office@radiomic.org



事務局員 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

日本は世界からみれば落ち着いて、安定した安全な国だそうですが、昨今何かと不穏なニュースを見聞きします。物価高騰も不安材料です。令和7年がどのようになっていくのか心配の種はつきませんが、皆様にとっては佳い年になりますよう心よりお祈りしています。

令和7年もご協力の程、よろしくお願い申し上げます。 (木村 和子)

新年あけましておめでとうございます

昨年の運用連絡受信数はその前年を上回る件数となり、「特定ラジオマイクが必要とされる場面は確実に増えている」ということを改めて実感しております。会員の保有する無線局数も順調に増加傾向を示しており、今年もそれらの需要に的確に対応していきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 (石川 来夢)

「謹賀新年」

今年は2025年大阪・関西万博を始め多くのイベントが予定されております。

また周波数移行から10年が経過するなかで、新たなデジタル機器の開発や技術基準の見直しなど、微力ですが業界の発展に努めて参りたいと考えておりますので、今年も宜しくお願い致します。

(甲田 乃次)

明けましておめでとうございます。

今年も宜しく願いいたします。

戦争がなくなり、穏やかで平和な1年になりますように。

(松崎 由紀)

あけましておめでとうございます。

2025年が皆さまにとって明るく希望に溢れる1年となりますように。

本年もどうぞよろしくお願いいたします！

(渡辺 聖尚)

新年あけましておめでとうございます

主に免許業務を担当しております。本年も皆様の一助となるよう、より一層励んでまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

(小西 咲絵)

事務局員 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます

旧年中はご愛顧を賜り誠にありがとうございました
皆様にとって明るい一年となりますよう、また、争いごとのない穏やかで平和な世界になります
よう切にお祈りいたします
本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます (田口 斉)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。
皆様のますますのご健勝とご繁栄をお祈りするとともに、本年も変わらぬご愛顧のほど、何とぞ
よろしくお願ひ申し上げます。 (神守 綾)

新年のご挨拶

すばらしい一年になりますよう
心からお祈り申し上げます
本年もどうぞよろしくお願ひいたします (吉田 ひであき)



皆様にとって良い一年でありますように



事務局便り



運用連絡票は 2 日前までに提出を！

※固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません。

『運用連絡票』のご提出につきまして、直前での連絡が増えております。
運用の 2 営業日前までに提出いただくようご協力をお願いいたします。

【運用連絡票受付時間】

平日 9 時 30 分～ 18 時まで

※土曜日または 3 連休の 1 日目と 3 日目も受け付けています。

※長期連休時の受付は当機構 Web サイトにてお知らせします。

【運用連絡票の送付先】

rm-unyo@radiomic.org

■令和 6 年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

令和 6 年度決算期日が間近になりました。毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。前年度よりの未納がある場合は併せてお振込みをお願いします。

